

科目分類	一般教養科目 科学の基礎	開講時期	1年	前期		
授業科目	比較文化論					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	大澤 隆将					
メールアドレス	tosawa@chikyu.ac.jp	オフィスアワー	授業の前後			

授業目的	<p>①文化人類学の基本的な概念を理解する。</p> <p>②異なる文化と自らの文化を比較する枠組みについて理解する。</p> <p>③自らの生きる文化について、相対化する視角を獲得する。</p>
授業概要	<p>本講義では、人間の文化的側面を探求する。儀礼や信仰のみならず、経済活動や近代科学、医療行為なども、広く文化・社会の産物として視野に含め、現代世界における多様な文化的価値を比較文化的に眺める、視点や論点を学習する。</p>
授業内容	<p>本講義では文化人類学の歴史と基礎概念を解説するとともに異なる文化のありかたについて学ぶことを通して、文化の違いについて「感じ」、「考え」、「言葉にする」ための力を身に着けることを目標とした講義を行う。</p> <p>第1回 文化人類学とは何か：概説と授業ガイダンス</p> <p>第2回 フィールドワークとエスノグラフィ：体験としての比較文化</p> <p>第3－4回 文化・社会を「機能」で説明する：人類学の歴史と基本概念①</p> <p>第5－6回 文化・社会の「構造」を探求する：人類学の歴史と基本概念②</p> <p>第7－8回 文化・社会を「相対的に」考える：人類学の歴史と基本概念③</p> <p>第9回 レポートの書き方：小レポート、学期末レポートへ向けて</p> <p>第10回 国家・伝統・権力：「構築」される文化</p> <p>第11回 儀礼・治療・宇宙観：病災をめぐる思考と行動</p> <p>第12回 経済・交換・互酬性：モノを介したヒトの関係</p> <p>第13回 民族・ジェンダー・人種：文化的なカテゴリー</p> <p>第14回 中間レポートの総括と学期末レポートの概説</p> <p>第15回 生と死：生と死を通して文化を理解する および 総括</p>
教科書 参考書等	<p>参考書：1. 春日直樹（編）（2008）『人類学で世界を見る－医療、生活・政治・経済』ミネルヴァ書房。</p> <p>2. 綾部恒雄・桑山敬己（編）（2010）『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房。</p> <p>3. 春日直樹・竹沢尚一郎（編）（2021）『文化人類学のエッセンス－世界をみる/変える』有斐閣アルマ</p> <p>その他、授業には資料を配布し、必要に応じて参考文献を提示する。</p>
成績評価 基準・方法	<p>中間レポート（書評：30%）、学期末レポート（60%）、授業への参加度（出席およびレスポンスシートによる質問・発言：10%）により、評価をおこなう。</p>
履修要件	特になし
留意事項 その他	特になし